

校区の人口

令和7年12月現在

町名	世帯数	総人口	男	女
大野芝町	1,786	3,560	1,732	1,828
学園町	278	493	248	245
新家町	1,850	3,860	1,896	1,964
土塔町	3,060	7,093	3,373	3,720

# 東百舌鳥



広報 46 号

令和8年2月発行

発行：東百舌鳥校区自治連合会  
東百舌鳥校区福祉委員会  
《各戸配布》

ごあいさつ



東百舌鳥校区自治連合会  
会長 北野 裕 文

平素から校区自治連合会ならびに各自治会の活動にご理解とご支援を賜り厚く御礼申し上げます。本年も昨年同様にご支援賜りますようお願いいたします。さて、日頃から安心・安全な町づくりとして、犯罪の無い、そして災害に強い町づくりを目標に活動してまいりました。防犯対策としてLED灯への変更、防犯カメラの設置などに努めてまいりました。防犯には暗い場所や死角を作らない、また住民間の情報共有が重要です。防犯設備の増設、地域コミュニティの強化を図

令和7年度をふりかえる



土塔町会長・校区副会長  
藤木 博 則

令和7年は本当に酷暑の夏となりました。その中の盆踊り大会ということで熱中症の危険もありましたが無事終了いたしました。百舌鳥八幡宮へのふとん太鼓奉納も10月4・5日に執り行いました。宮入り当日には深井東町のだんじりとのコラボを町内で行うなど、町民一同心から「祭」を楽しむことができたと思っています。10月26日には、恒例の「土塔の一般公開」に合わせ「土塔や行基に関する講演会」を中區役所に協力して行うことができました。来年の令和9年には町名由来の史跡土塔が創建されてから1300年になりますので堺市と協力して盛り上げていきたいと思っています。



りたいと考えます。また、校区防災訓練には毎年たくさんの方に参加いただき、南海トラフ大地震が現実味を増す中で、自治会員の防災意識の高まりを感じています。訓練では中界消防署の指導のもと、身近にあるものを活用した担架づくり、心肺蘇生法、AED操作、ダンボールベッド組み立てなど、実践的な訓練が行われます。今年度は東百舌鳥中学校から生徒の参加があり、若い世代の意識の高さを感じることができました。その他、市民オリピック、区民フェスタへの参加、各町会独自のイベント、子供会活動と、世代を超えた活力を感じています。引き続き、皆さまに期待しています。最後になりましたが、私北野は3月末をもちまして校区自治連合会会長を退任いたします。在任中のご支援に感謝するとともに、新会長のもとで引き続き校区の発展を応援していきたいと思っています。



大野芝町会長・校区副会長  
中井 信 治

大太鼓巡業と盆踊りにつきましては令和7年も大阪新田3町（大野芝町・関茶屋・下草尾）で出雲大社大阪分祠において開催することができました。宮入では3町の太鼓を一か所に集合させ、高らかなドラムペットの音を合図に出雲大社まで一糸乱れぬ隊列を組んで宮入をし、見物の皆さまから絶賛の声と拍手を頂きました。

自治会旅行では淡路島の北淡震災記念公園に行き、説明員の方から「わずか10秒の時間にすべてのものが破壊される地震の恐ろしさを味わいましたが、日頃からの強い地域のつながりから当日中に町内すべての方の安全確認ができた」とのお話を聞くことができ、日頃からの人のつながりと震災への備えが災害を最小限に抑える手立てだと感じました。

今回で3回目となる園芸講習会では募集人員いっぱい30名の方が参加され、シクラメン等の苔玉作りに取り組みしました。水苔に糸を巻き付けるのに悪戦苦闘しながらも可愛い仕上がりに大満足の笑顔で終了いたしました。



子供会活動をふりかえる

子供会育成協議会会長・連合子供会会長  
中尾 翔 一

日頃より子供会の活動にご理解とご協力いただき、誠にありがとうございます。本年度も皆さまの温かいご支援のもと、子ども達もさまざまな行事や活動を通して、多くの経験を重ねることができました。行事の準備や運営、見守りなどに協力いただいた保護者の皆さま、また地域の皆さまに、役員一同心より感謝申し上げます。至らぬ点もあつたかと思いますが、皆さまのお力添えにより、無事に一年を終えることができました。

新入部員  
大募集



来年度も、子ども達が安心して楽しく参加できる子供会活動を目指してまいります。今後ともご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。一年間ありがとうございました。



新家町会長・校区副会長  
小谷 利 一

今年度の活動は6月の美化運動から始まり、特に8月の盛夏の中での盆踊り、11月のバス旅行が盛況を呈し心に残る行事でした。猛暑の中での盆踊りは自治会、各種団体、自治会会員の皆さまの多数のご協力とご参加に支えられて盛大に開催でき、事故なく無事終了できました。昨年度からは紙張りなど新企画を取り入れていますが、今後また皆さまの方に楽しんでいただけるように趣向を凝らしたいと思っています。バス旅行では前回同様2コース制で御在所岳方面、鈴鹿サーキット方面を設け、たくさんの方の参加をいただきました。御在所岳では、山肌に映える綺麗な紅葉が迎え入れてくれましたが、山頂付近の風や寒さは厳しく、もう少し早い時期が無難だったかなと感じました。鈴鹿サーキットでは、子どもさんだけではなく大人の方からも楽しめたとの声をいただきました。次年度も自治会活動へのご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。







東百舌鳥中学校 校長 武田 真也

本年度も生徒たちは主体的に学び、地域とともに成長する姿を見せてくれました。3年生は平和学習の一環として、大学や企業と連携し「キッズゲルニカ」に挑戦。大きなキャンパスに平和への願いを込め、協働の力を実感しました。また、地域貢献活動として校区一斉清掃を実施し、地域の方々

## 生徒指導の目標

東百舌鳥中学校 生徒指導主事 池森 祐也

本校の生徒指導の重点目標は、「発達支持的生徒指導による学校風土の向上」です。日々の挨拶や声かけ、称賛、そして地域への奉仕活動を積み重ね、学校全体の雰囲気や温かさを前向きなものにし、生徒が学校をポジティブに捉えられるよう取り組んでいます。具体的には、学校生活のキーワードとして「あいさつ・はくしゅ・ありがとつ」を設定し、集会やホームルーム、登校指導で共通言語として活用しています。また10月には校区内一斉清掃、11月には東百舌鳥小学校区の防災訓練へ参加し、地域に貢献できる責任ある生徒の育成を図っています。地域からお褒めの言葉をいただいた際には、対象生徒へ感謝状を集会や校長室で贈呈し、努力を称える機会も設けています。一方で課題として、通学時に自転車やスーパーマーケットやコンビニ、アパートなどに置いて登校してしまう生徒が依然として見られます。また、言葉遣いについても改善の余地があり、今後は道徳教育や人権教育と連動させながら指導の充実を図っていききたいと考えています。



校区一斉清掃の様子



防災訓練参加の様子



## 新しい制服になります！

本校ではこれまで、性差によって制服が異なり、体温調整のしづらさや硬さによる不快感が課題となっていました。今回の制服改定では、すべての子どもたちに優しい制服を目指し、ブレザー型を基本にスラックス・スカートを性別に関係なく選べるようにしました。さらに、汗をかけた際の不快感を軽減するポロシャツを導入し、夏の半袖ポロシャツは多色展開とすることで、生徒が好みの色を選び愛着を持てるよう工夫しています。また、堺市初となるハーフパンツスラックスを採用し、夏場の体温調整にも対応しました。今後は「自己選択ができ、社会の一員としてふさわしい生徒の育成」を柱に、スーツに近い新制服を通して、ボタンの開閉や式典でのふるまいなど、ビジネスマナーも身に着ける取り組みを考えています。



東百舌鳥小学校 校長 川人 慎二

東百舌鳥小学校区の皆さまには、日頃より登下校の見守りや温かいお声がけをいただき、心より感謝申し上げます。また、ふとん太鼓の見学など、地域ならではの貴重な体験もさせていただき、子どもたちの豊かな心を育んでいただいております。

本校での一年を振り返ると、子どもたちの素直な姿が目につかびます。先日、腰を痛め松葉杖をつく教頭先生を見て、「かわいそうだ」と涙を流し、そばを離れようとした二年生がいました。日頃の信頼関係あってこそ姿であらうと思います。このようなわいらしいエピソードが毎日見られる学校です。感情豊かで優しい心を持つ子どもたちは、まさに本校の宝です。

子どもたちを深く愛する先生たちもまた本校の強みです。放課後の職員室では「今日こんなことができた」と子どもの成長を語り合う声が絶えません。地域の皆さまの愛情の中で、子どもたちは健やかに育っています。今後とも変わらぬご支援をよろしくお願い申し上げます。



自作の短歌を先生、友だちと見せ合う6年生

## 校区自主防災訓練

11月13日(日)に東百舌鳥小学校において校区自主防災訓練を行いました。

今年度は中消防署・中区自治推進課に加え、中第2地域包括支援センターにもご協力いただきました。(参加者：約170名)今回は東百舌鳥中学校から先生と生徒さんの参加もあり、いつも以上に盛り上がりしました。また、訓練方法を試験的に各々自由に訓練に参加してもらうように変更しましたが、いかがでしたでしょうか？

今後より一層有意義な訓練を行えるように試行錯誤してまいりますので、皆さまご参加・ご協力のほどよろしくお願いいたします。(自主防災会代表 平岡高志)



ダンボールベッドの組立



搬送訓練



非常用トイレの説明



看護師さんによる応急手当の訓練

## 地域とともに力を合わせて

民生委員・児童委員  
東百舌鳥校区委員長

松川 幸男



令和7年11月末を持って全員任期満了となりました。

新たに令和7年12月1日より厚生労働大臣および堺市長より委嘱を受けて再任された方は14名、新委員として3名の合計17名(主任児童委員を含む)にて出発しました。

地域の方々の協力のもと、共に力を合わせて福祉活動を作り上げてまいりたいと思います。特に近年は高齢者の方との関りが重要となつていきます。3町会(土塔町、大野芝町、新家町)の自治会館をお借りして、高齢者との交流を行ってまいります。皆さまのご参加をお願いいたします。幼児との関りは、主任児童委員が中心となり未就学幼児と月に2回ボランティアの方の協力のもとに子育て交流会を開催しています。ご参加をお願いいたします。また、校区自治会館ではボランティア(スイートピー)の方によるふれあい喫茶を月に1回開催しています。その折に、民生委員が参加して諸問題(お悩み)の相談を受けて、行政へのつなぎを行ってまいります。お気軽にご相談ください。

## ●東百舌鳥校区福祉委員より

●高齢者に対し、特殊詐欺事件が多発しています。大阪府では1日に5千万円の被害が出ています。注意してください！

●校区ふれあい喫茶のボランティアを募集しています。ご協力をよろしくお願いいたします。

## 堺市民オリンピックピック 結果報告

10月13日(月・祝)第51回堺市民オリンピックが開催されました。応援いただいた皆さまありがとうございました。

- 【結果】
- ・バレーボール 優勝
  - ・ソフトボール 優勝
  - ・ゲートボールA 3位
  - ・陸上 小学生女子100m 3位
  - ・卓球 大健闘
  - ・グラウンド・ゴルフ 大健闘

(体育指導委員長 吉村一郎)



## 編集後記

本号は令和7年度をふりかえるこのことで、地域や学校の様子を知っていただけたことと思います。さて近年は暑さと寒さの繰り返しのようない気候で、外出がおっくうになりがちとは思いますが地域活動への参加・交流を通じて心身ともに健康を維持いただきたいと思います。また本校区は安心・安全な町づくりを目標としています。北野会長からもありますように、これには住民同士の連携が不可欠です。顔の見える関係を作り、情報を共有することが防犯や減災に大きく貢献します。次年度も様々な行事が予定されています。皆さまには地域活動への積極的なご参加による健康増進、地域コミュニティの活性化をお願い申し上げます。

(広報編集委員長 大江真道)

発行責任者 北野 裕文